

防001	項目名	総合防災対策事業費		
主要な施策	総合防災対策費	ページ	25	所 属 名
年度	H24	総務部防災調整監 危機管理課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】企画係・消防係 0857-20-3127. 20-3118			
款 総務費	【9次総の施策体系】3301			
項 総務管理費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P22（防001）、9月補正・P4（防002）			
目 諸費	【事業の概要】 災害を未然に防ぎ、発生時の被害を最小限に食い止めるため、総合的に防災体制を整備する必要がある。 また、地域における防災体制の整備強化を行うことにより、災害時の被害軽減が可能となるため、住民に対する防災意識の啓発と防災情報の提供を強化していく必要がある。			
(単位:千円)	【事業の成果】			
当初予算額	10,287	1 鳥取市総合防災マップの作成・全戸配布		
補正予算額	4,000	2 地区防災マップ作成助成		
予算流・充用額	△ 73	3 災害時応援協定の新規締結		
最終予算額	14,214	4 市職員参集システムの運用開始		
本年度決算額	13,027	5 鳥取大地震70年事業防災啓発DVD作成		
区分	決算額	【今後の課題・方向性】 より効果的に災害対応が行えるように、随時手段等を見直していく。		
財源内訳	国・県支出金	4,041	評価結果	
	地方債	0	今後も効果的な防災情報伝達手段を用いて、より迅速に、より多くの住民に防災情報が伝達できるよう努めていく。また、住民自らが作成する地区防災マップのような効果的な防災意識の啓発を行っていく。	
	その他	0		
	一般財源	8,986		
	計	13,027		
(参考)	前年度決算額	2,594		

防002	項目名	自主防災活動補助金		
主要な施策	総合防災対策費	ページ	25	所 属 名
年度	H24	総務部防災調整監 危機管理課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】企画係 0857-20-3127			
款 総務費	【9次総の施策体系】3301			
項 総務管理費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 6月補正・P2（防001）			
目 諸費	【事業の概要】 （財）自治総合センターは、宝くじの社会貢献広報事業として、集会施設やコミュニティ活動備品の整備、安全な地域づくりと共生のまちづくり等に対して助成を行い、地域のコミュニティ活動の充実・強化を図ることにより、地域社会の健全な発展と住民福祉の向上に寄与するための事業を行っている。 このコミュニティ助成事業を活用し、地域防災組織等の活動備品を整備することにより地域防災力の向上を図る。			
(単位:千円)	【事業の成果】			
当初予算額	0	平成21年度 箭浜自主防災会		
補正予算額	2,300	平成22年度 中ノ郷自主防災会		
予算流・充用額	0	平成23年度 宮ノ下自治会自主防災会		
最終予算額	2,300	平成24年度 山王団地自主防災会 小型ポンプ、除雪機他 鳥取市消防団 レサシアン、AED他		
本年度決算額	2,300	【今後の課題・方向性】 今後もコミュニティ助成事業を活用し、地域防災組織の育成、活動の充実・強化に努める。		
区分	決算額	評価結果		
財源内訳	国・県支出金	0	今後もコミュニティ助成事業を活用し、地域防災組織の育成、活動の充実・強化に努める。	
	地方債	0		
	その他	2,300		
	一般財源	0		
	計	2,300		
(参考)	前年度決算額	2,000		

防003	項目名	避難案内板修繕費		
主要な施策	総合防災対策費	ページ	25	所 属 名
年度	H24	総務部防災調整監 危機管理課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】企画係 0857-20-3127			
款 総務費	【9次総の施策体系】3301			
項 総務管理費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P25（防008）			
目 諸費	【事業の概要】 避難案内板の設置、適切に管理することにより、住民が平常時から避難所としての認識を持ち、非常時の円滑な避難行動に繋げることを目的に市沿岸部を中心に整備を図る。			
(単位:千円)	【事業の成果】 一時避難所等に設置してある避難所案内板のうち老朽化したものを修繕し、案内板が設置されていない避難所・避難場所へ必要に応じて設置を行った。 ・新規設置 25箇所 ・既設案内板への海拔表示 17箇所			
当初予算額	5,618	【今後の取り組み】 既設避難誘導板の点検、設置されていない場所の確認を行い、必要に応じて修繕・整備を図る。		
補正予算額	0			
予算流・充用額	0			
最終予算額	5,618	評価結果		
本年度決算額	5,583	既設避難誘導板の点検、設置されていない場所の確認を行い、必要に応じて修繕・整備を図る。		
区分	決算額	評価結果		
財源内訳	国・県支出金 2,590	既設避難誘導板の点検、設置されていない場所の確認を行い、必要に応じて修繕・整備を図る。		
	地方債 0			
	その他 0			
	一般財源 2,993			
	計 5,583			
(参考)	前年度決算額	973		

防004	項目名	防災行政無線維持管理費		
主要な施策	総合防災対策費	ページ	25	所 属 名
年度	H24	総務部防災調整監 危機管理課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】企画係 0857-20-3127			
款 総務費	【9次総の施策体系】3301			
項 総務管理費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P26（防009）、12月補正・P4（防001）			
目 諸費	【事業の概要】 防災行政無線を適切に管理し、災害時の緊急連絡に万全を期して、市民の安全確保に資するもの。			
(単位:千円)	【事業の成果】 1 防災行政無線、その他防災対策用通信設備の維持管理 2 防災行政無線戸別受信機の修繕・購入 (購入台数:河原9台、用瀬10台、佐治5台、鹿野10台、青谷10台)			
当初予算額	35,175	【今後の課題・方向性】 老朽化しているアナログ防災無線を適切に管理し、運用に支障が無いように努めるとともに、デジタル化に向けての無線のあり方を検討していく。		
補正予算額	1,183			
予算流・充用額	△42			
最終予算額	36,316	評価結果		
本年度決算額	34,622	老朽化しているアナログ防災無線を適切に管理し、運用に支障が無いように努めるとともに、デジタル化に向けての無線のあり方を検討していく。		
区分	決算額	評価結果		
財源内訳	国・県支出金 5,215	老朽化しているアナログ防災無線を適切に管理し、運用に支障が無いように努めるとともに、デジタル化に向けての無線のあり方を検討していく。		
	地方債 0			
	その他 0			
	一般財源 29,407			
	計 34,622			
(参考)	前年度決算額	30,555		

防005	項目名	防災行政無線整備事業費		
主要な施策	総合防災対策費	ページ	25	所 属 名
年度	H24	総務部防災調整監 危機管理課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】企画係 0857-20-3127			
款 総務費	【9次総の施策体系】3301			
項 総務管理費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P26（防010）			
目 諸費	【事業の概要】 防災行政無線は緊急時の情報伝達の中心と位置づけており、早期に鳥取市全域をデジタル化することで、より一体的な情報伝達体制が構築できる。また、アナログーデジタルの併用による費用負担や維持費が抑制できる。			
(単位:千円)	【事業の成果】 屋外拡声子局設置 2基（美保南小学校、お花畑ゾーン）			
当初予算額	12,600	【今後の課題・方向性】 防災行政無線のデジタル化について、現状の住民への情報伝達手段や無線のあり方等を 勘案して検討していく。		
補正予算額	△ 5,152			
予算流・充用額	0			
最終予算額	7,448	【評価結果】 防災行政無線のデジタル化について、現状の住民への情報伝達手段や無線のあり方等を勘案して検討していく。		
本年度決算額	6,248	評価結果		
区分	決算額	分担金		
財源内訳		負担金		
国・県支出金	0	使用料		
地方債	6,200	手数料		
その他	0	財産収入		
一般財源	48	寄付金		
計	6,248	繰入金		
		贈収金		
		その他		
(参考)				
前年度決算額	0			

防006	項目名	総合防災訓練費		
主要な施策	総合防災訓練費	ページ	25	所 属 名
年度	H24	総務部防災調整監 危機管理課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】企画係 0857-20-3127			
款 総務費	【9次総の施策体系】3301			
項 総務管理費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P22（防002）			
目 諸費	【事業の概要】 地震による災害発生を想定し、災害時における防災活動の円滑化及び防災意識の高揚を 図ることを目的とし、各総合支所を含めた総合的な防災訓練の実施によって、防災関係機 関及び地域住民との連携と協力のもとに、災害時の応急対策を迅速かつ適確に実行する。			
(単位:千円)	【事業の成果】 防災関係機関及び地域住民と連携し、避難誘導訓練、情報伝達訓練、初期消火訓練、 避難所開設訓練、医療救護訓練、給水炊き出し訓練、災害対策本部運用訓練等を実施した 。			
当初予算額	764	・訓練実施日 9月10日		
補正予算額	0	・訓練会場 福部小学校、美保南小学校ほか		
予算流・充用額	48	【今後の課題・方向性】 毎年市民や防災関係機関の参加を得た総合防災訓練を実施し、災害発生時の円滑な応急 対策に資する。		
最終予算額	812	【評価結果】 毎年市民や防災関係機関の参加を得た総合防災訓練を実施し、災害発生時の円滑な応急対策に資する。		
本年度決算額	761	評価結果		
区分	決算額	分担金		
財源内訳		負担金		
国・県支出金	117	使用料		
地方債	0	手数料		
その他	0	財産収入		
一般財源	644	寄付金		
計	761	繰入金		
		贈収金		
		その他		
(参考)				
前年度決算額	610			

防007	項目名	県被災者住宅再建支援基金拠出金	
主要な施策	県被災者住宅再建支援事業費	ページ	24
年度	H24	所 属 名 総務部防災調整監 危機管理課	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】企画係 0857-20-3127		
款 総務費	【9次総の施策体系】3301		
項 総務管理費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P23（防003）		
目 諸費	【事業の概要】 鳥取県西部地震を契機に、災害発生後の住宅再建を支援することにより、災害発生後の地域社会の力強い復興を目的にしたもので、鳥取県及び県内市町村が創設した被災者住宅再建支援基金への拠出を行うもの。		
(単位:千円)	【事業の成果】 市町村の積立額の算出は、住宅戸数と世帯数のいずれか低い数値を算出基礎として按分		
当初予算額	17,687	基金造成額 20億円 基金造成期間 平成25年度まで13年間 単年度拠出額 県内市町村合計 0.5億円 県拠出額 0.5億円	
補正予算額	0	拠出額 H21 17,791千円 H22 17,647千円 H23 17,672千円 H24 17,687千円	
予算流・充用額	0	【今後の課題・方向性】 平成25年度の基金造成期間まで基金への拠出を継続する。	
最終予算額	17,687	【事業の成果】 市町村の積立額の算出は、住宅戸数と世帯数のいずれか低い数値を算出基礎として按分	
本年度決算額	17,687	基金造成額 20億円 基金造成期間 平成25年度まで13年間 単年度拠出額 県内市町村合計 0.5億円 県拠出額 0.5億円	
区分	決算額	拠出額 H21 17,791千円 H22 17,647千円 H23 17,672千円 H24 17,687千円	
財源内訳	国・県支出金 0	【今後の課題・方向性】 平成25年度の基金造成期間まで基金への拠出を継続する。	
	地方債 0		
	その他 0		
	一般財源 17,687		
	計 17,687		
(参考)	前年度決算額	17,672	評価結果 平成25年度の基金造成期間まで基金への拠出を継続する。

防008	項目名	東部広域行政管理組合負担金	
主要な施策	東部広域行政管理組合負担金	ページ	40
年度	H24	所 属 名 総務部防災調整監 危機管理課	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】消防係 0857-20-3118		
款 消防費	【9次総の政策体系】3301		
項 消防費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P23（防004）		
目 常備消防費	【事業の概要】 東部広域行政管理組合が行う事務は、介護認定審査、火葬場運営、可燃物処理、不燃物処理、し尿処理、消防等である。 本負担金は、消防費分負担金であり、普通負担金（消防職員人件費、消防施設費・設備管理費、防火・防災啓発関係費分）と特別負担金（消防施設建設費、消防用地取得公債費、消防職員退職手当積立費等）に区分され、警防・救急救助業務の円滑な運営を図っている。		
(単位:千円)	【事業の成果】 警防・救急救助業務の円滑な運営が図られている。		
当初予算額	2,231,544	【今後の課題・方向性】 東部広域行政管理組合と連携し、消防施設・設備等を充実させるなど、消防力の向上を図る。	
補正予算額	△1,456		
予算流・充用額	0		
最終予算額	2,230,088		
本年度決算額	2,230,088		
区分	決算額		
財源内訳	国・県支出金 0		
	地方債 0		
	その他 0		
	一般財源 2,230,088		
	計 2,230,088		
(参考)	前年度決算額	2,330,041	評価結果 東部広域行政管理組合と連携し、消防施設・設備等を充実させるなど、消防力の向上を図る。

防009	項目名	消防救急無線デジタル化整備事業費	
主要な施策	消防救急無線デジタル化整備事業費	ページ	40
年度	H24	所 属 名 総務部防災調整監 危機管理課	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】消防係 0857-20-3118		
款 消防費	【9次総の政策体系】3301		
項 消防費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P27（防011）		
目 常備消防費	【事業の概要】 全国の消防救急無線は、総務省の電波法関係審査基準改正等により平成28年5月末までにデジタル化することが規定された。 これを受けて実施された電波伝搬調査において、東部消防局管内を無線カバーするには、現状の無線基地局数では無線が届かない地域が増えることから、新たな基地局を設置するよう調査結果が取りまとめられた。 このため、鳥取県東部地域に既設を含め基地局6局を設置するなど、平成25年度までに消防救急デジタル無線の設備を整備しようとするものであり、法的に義務化された消防救急無線のデジタル化に対応し、住民の生命身体財産を守る消防救急業務を円滑に行えるようにする。		
(単位:千円)	【事業の成果】 1 消防救急無線のデジタル化整備のための中継局建設用地確保（3箇所） 2 実施設計・整備工事（実施主体：鳥取県東部広域行政管理組合）		
当初予算額	123,684	【今後の課題・方向性】 平成25年度までにデジタル無線設備整備工事を行う（実施主体：鳥取県東部広域行政管理組合）。	
補正予算額	△ 118,742	【参考】	
予算流・充用額	0	評価結果 平成25年度までにデジタル無線設備整備工事を行い、消防救急業務の充実を図る（実施主体：鳥取県東部広域行政管理組合）。	
最終予算額	4,942	その他財源の内訳	
本年度決算額	4,941	分担金	0
区分	決算額	負担金	0
財源内訳	国・県支出金	使用料	0
	地方債	手数料	0
	その他	財産収入	0
	一般財源	寄付金	0
計	4,941	繰入金	0
		贈収金	0
		その他	0
前年度決算額	11,713		

防010	項目名	車両・器材等整備事業費	
主要な施策	車両機材費	ページ	40
年度	H24	所 属 名 総務部防災調整監 危機管理課	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】消防係 0857-20-3118		
款 消防費	【9次総の政策体系】3301		
項 消防費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P27（防012）、6月補正・P2（防002）		
目 非常備消防費	【事業の概要】 消防ポンプ車・小型ポンプ・軽可搬ポンプの維持管理費及び消防用資機材等の整備事業経費 ・消防車車検、点検整備費用 ・消防用ホース、ジェットシューター、小型ポンプ等購入		
(単位:千円)	【事業の成果】 ポンプの維持管理や資機材の整備を行い、消防団活動の充実を図った。		
当初予算額	14,203	【今後の課題・方向性】 老朽化した資機材の更新・維持管理を計画的に行い、充実した消防活動が行えるよう努める。	
補正予算額	667	【参考】	
予算流・充用額	△ 89	評価結果 老朽化した資機材の更新・維持管理を計画的に行い、充実した消防活動が行えるよう努める。	
最終予算額	14,781	その他財源の内訳	
本年度決算額	14,566	分担金	0
区分	決算額	負担金	0
財源内訳	国・県支出金	使用料	0
	地方債	手数料	0
	その他	財産収入	0
	一般財源	寄付金	0
計	14,566	繰入金	0
		贈収金	704
		その他	0
前年度決算額	8,691		

防011	項目名	防火水槽整備費(単独)		
主要な施策	消防施設等整備費	ページ	40	所 属 名
年度	H24	総務部防災調整監 危機管理課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】消防係 0857-20-3118			
款 消防費	【9次総の政策体系】3301			
項 消防費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P24(防005)			
目 消防施設費	【事業の概要】 地震による火災時や大規模な火災では、使用できない消火栓が生じる可能性があるため、地域内の水道管の管径や消火栓の配置状況等を考慮し、必要に応じて防火水槽の新設を行う。			
(単位:千円)	【事業の成果】 耐震性防火水槽(40t)1基(河原町小倉地内)を新設し消防水利の充実を図った。			
当初予算額	4,513	【今後の課題・方向性】 消火栓などの既存消防水利の状況等により、消火活動に支障をきたさないよう必要に応じて設置を行う。		
補正予算額	△172			
予算流・充用額	0			
最終予算額	4,341	評価結果		
本年度決算額	4,341	消防水利の状況等を勘案し、消火活動に支障をきたさないよう必要に応じて設置を行う。		
区分	決算額	評価結果		
財源内訳	国・県支出金	0	評価結果	
	地方債	4,100	評価結果	
	その他	0	評価結果	
	一般財源	241	評価結果	
	計	4,341	評価結果	
(参考)	前年度決算額	9,864	評価結果	

防012	項目名	消防ポンプ車格納庫建設事業費		
主要な施策	消防施設等整備費	ページ	40	所 属 名
年度	H24	総務部防災調整監 危機管理課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】消防係 0857-20-3118			
款 消防費	【9次総の政策体系】3301			
項 消防費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P24(防006)			
目 消防施設費	【事業の概要】 消防格納庫の中には、建設から50年近く経過して老朽化しているとともに、格納庫が狭小であるため、新型の消防ポンプ車が格納できない施設がある。老朽化している格納庫を整備することにより、今後の消防ポンプ車の配備に備えるとともに、待機場所を整備することによる出動時間の短縮により、被害の軽減を図る。			
(単位:千円)	【事業の成果】 松保分団消防ポンプ車格納庫の新築			
当初予算額	19,090	【今後の課題・方向性】 消防ポンプ車格納庫の建築年度や設備等を勘案し、計画的に建替えを行い、消防力の向上を図る。		
補正予算額	△276			
予算流・充用額	0			
最終予算額	18,814	評価結果		
本年度決算額	17,010	消防力の向上を図るため、老朽化の著しいものや待機室・便所の備わっていない格納庫について、計画的に建替えを行う。		
区分	決算額	評価結果		
財源内訳	国・県支出金	0	評価結果	
	地方債	16,000	評価結果	
	その他	0	評価結果	
	一般財源	1,010	評価結果	
	計	17,010	評価結果	
(参考)	前年度決算額	1,310	評価結果	

防013	項目名	消防ポンプ車購入費
------	-----	-----------

主要な施策	消防ポンプ等購入費	ページ	40
-------	-----------	-----	----

所 属 名	総務部防災調整監 危機管理課
-------	-------------------

年度	H24
----	-----

事業の概要

会計名	
一般会計	
款	消防費
項	消防費
目	消防施設費

(単位:千円)	
当初予算額	19,010

補正予算額	△ 755
-------	-------

予算流・充用額	0
---------	---

最終予算額	18,255
-------	--------

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
贈収金	0
その他	0

本年度決算額	18,202
--------	--------

区 分	決算額
財源内訳	
国・県支出金	0
地方債	17,200
その他	0
一般財源	1,002
計	18,202

【問合せ先】 消防係 0857-20-3118

【9次総の政策体系】 3301

【予算計上の経過】
 予算事業別概要目次
 当初予算・P25 (防007)

【事業の概要】
 本市消防団の消防ポンプ車の中には、配備から20年以上経過しているものがある。老朽化により、火災時に支障が出ることがないよう、消防ポンプ車を更新することにより、作業効率の向上が図れるため火災時における被害の減少を図ることができる。

【事業の成果】
 消防ポンプ車老朽化 (H4年度購入) に伴う更新を行い消防活動の充実を図った。
 ・鳥取地区団大正分団 1台

【今後の課題・方向性】
 購入年度や出動形態を勘案して、計画的に消防ポンプ車を更新するとともに、適切な管理運用を行う。

(参考)	
前年度決算額	18,146

評価結果	購入年度や出動形態を勘案して、計画的に消防ポンプ車を更新するとともに、適切な管理運用を行う。
------	--